

白神りんどう 出荷最盛期へ

色鮮やか！ 涼感たっぷり青紫



青紫の発色が鮮やかな圃場

出荷最盛期を迎え、収穫されたりんどうの束

りんどうは冷涼な気候に合うことから平成21年から藤里町で栽培が始まり、最初は3名の生産者が60aからりんどう栽培を開始しましたが、現在では能代市でも栽培が行われ、栽培人数は12名、面積は当初の約6.5倍の400aまで広がり、会員同士お互い切磋琢磨しながら栽培に取り組んでいます。

白神りんどうの収穫が最盛期を迎えました。今年は春先から気温が高く推移したことから生育が前進し、平年より10日ほど早く出荷最盛期を迎えました。
白神りんどうは市場から品質が評価されている品目で、涼感たっぷりの青紫色の花が圃場に広がる中、生産者は一本一本収穫し、出荷規格に合わせて箱詰めを行って出荷作業を行っています。
りんどうの栽培は機械化されている部分が少ないため、手作業がとても多く、収穫してから出荷の箱に詰めるまで時間がかかりますが、生産者にとっては出荷最盛期を迎え、一番の楽しみであり喜びも迎えております。



次々運び込まれる集荷場内

当JAでは「あきた白神りんどう」のネーミングで特産化を目指し、規模を拡大しています。美しい青色の品種を中心にピンク、白、青と白のグラデーションカラー等8品種をメインに30種類のりんどうを出荷しており、鮮やかな発色が県内市場の他、首都圏市場でも高い評価を得ています。
収穫は需要が高まるお盆をピークに、今後、晩生種を中心に10月いっぱいまで収穫・出荷作業が続きます。



白神りんどうPR

～ 藤里町で販売キャンペーン～



涼感を求め、りんどうを買い求める来場者

りんどう部会のあきたりんどう販売キャンペーン「りんどうフラインソニック」が7月9日開催されました。
会場となった藤里町役場周辺では直売会のほか白神山々ファーマーズマーケットも同時開催され、賑わいを見せました。
あきた白神りんどうの販売ブースでは、部会員やJA職員が収穫期を迎えた極早生種のりんどうを特別価格で販売PRし、涼感たっぷりの青紫や白色や淡い色など、多彩で奥深いりんどうが来場した方々を魅了していました。

Contents

- 02 | **特集** 白神りんどう 出荷最盛期へ
- 04 | あきた白神トピックス
- 08 | 脳寿命を延ばす健康生活
- 10 | 営農情報 ～ 稲作・畑作～
- 12 | JA共済代理店紹介・JA職員紹介・出品者紹介
- 13 | おたより・クロスワード
- 14 | 能代科学技術高校レポート
～スキルアップを目指す～
- 15 | 法務局からのお知らせ
- 16 | JAあきた白神からのお知らせ
- 20 | エコープ商品で簡単クッキング